

絶メシリスト

市内で長年愛され、失うには惜し過ぎる絶品ローカルグルメを紹介するウェブサイト「絶メシリスト」。テレビドラマ化や広告賞の受賞など、国内外でさまざまな反響を呼びました。今回号では、絶メシリストの概要と反響などについて紹介します。問い合わせは、企画調整課（☎321-1202）へ。



高崎発の取り組みが国内外で大きな反響を呼ぶ

絶メシリストは、国内外の広告業界などで高く評価されています。広告業の国内最大級のコンテスト「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」や世界三大広告賞の一つ「カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバル」などで、5つの賞を受賞。テレビドラマ「絶メシロード」も放送され、実際の絶メシ店が登場して話題となりました。

全国の自治体にも絶メシの取り組みが拡大。福岡県柳川市や石川県、広島県で絶メシリストが始まりました。昨年7月には、東京都港区に全国の絶メシを味わえる「烏森絶メシ食堂」が開店。新橋のサラリーマンやドラマを見た人が絶メシを堪能しています。長年愛されてきた地元の味を絶やさないための、高崎発の取り組みが全国に広がっています。



売り上げの一部を絶メシ店に還元し名店の味を守る烏森絶メシ食堂



からさき食堂の「白いオムライス」(上)や富士久食堂の「焼肉丼」などメニューは定期的に入れ替え

絶やしたくない絶品を紹介「絶メシリスト」

絶メシリストは、絶やしてしまふには惜し過ぎる、個人経営の飲食店や惣菜店を紹介するウェブサイトです。昔から地域の人たちに愛されてきたお店の多くが、経営者の高齢化や後継者不足などから、閉店の危機に直面しています。「あの味を失いたくない」「店のことをもっとたくさんの人に知ってほしい」「できれば働き手や後継者の獲得につなげたい」——。そんな思いから絶メシリストは生まれました。



掲載店舗は、大手グルメ雑誌の編集者などで構成される「絶メシ調査隊」が、市民からの口コミを頼りに調査して選抜。現在、閉店した店舗を含む、61店舗が掲載されています。



絶メシリスト



丁寧な仕込みによる逸品



毎朝手作りされる食卓の味

魅力あふれる絶メシ店 スマホや本で見られます

絶メシリストは、スマートフォンやパソコンから見られます。簡単に検索できるので、ぜひいろいろな絶メシ店に行って、逸品を食べたり、惣菜を買ったりしてみてください。サイトでは、絶メシ調査隊が実際に食べた料理や店の雰囲気などを、隊員と店主の会話形式で紹介。絶メシ店に行くときの参考になります。

本でも楽しめる絶メシリスト

書籍化された「高崎絶メシリスト 特盛版」は、これまで絶メシに認定された店舗から抜粋して紹介。A5判の303ページで、各店自慢の逸品や店主のコメント、お店の営業日や電話番号、地図などを掲載しています。価格は1760円(税込み)で、市内の書店やインターネットなどで販売中です。

店主の熱い思いをじっくり読んだり、実際に絶メシ店を巡ったりと、魅力あふれる高崎の絶メシをぜひ楽しんでください。

食えなくなっても 知らねえよー！